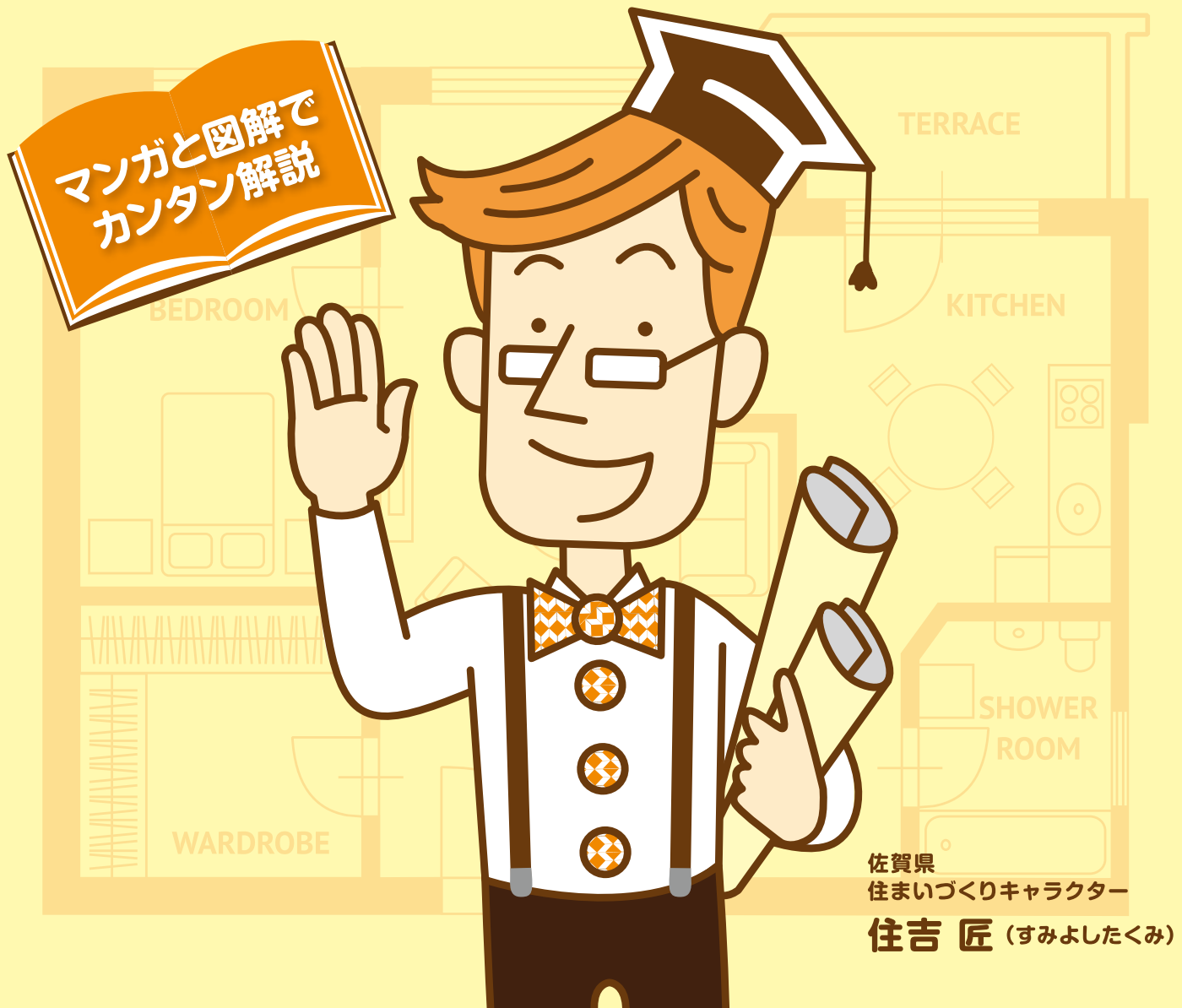


これからの暮らしの基準
「永住価値」の家づくり

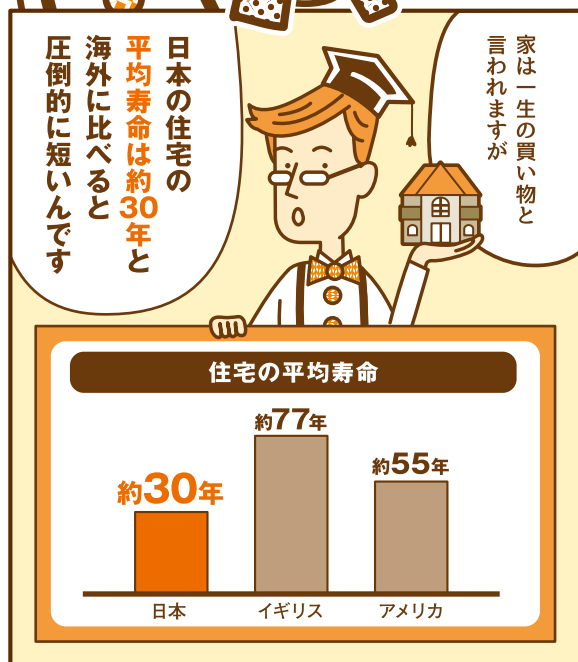
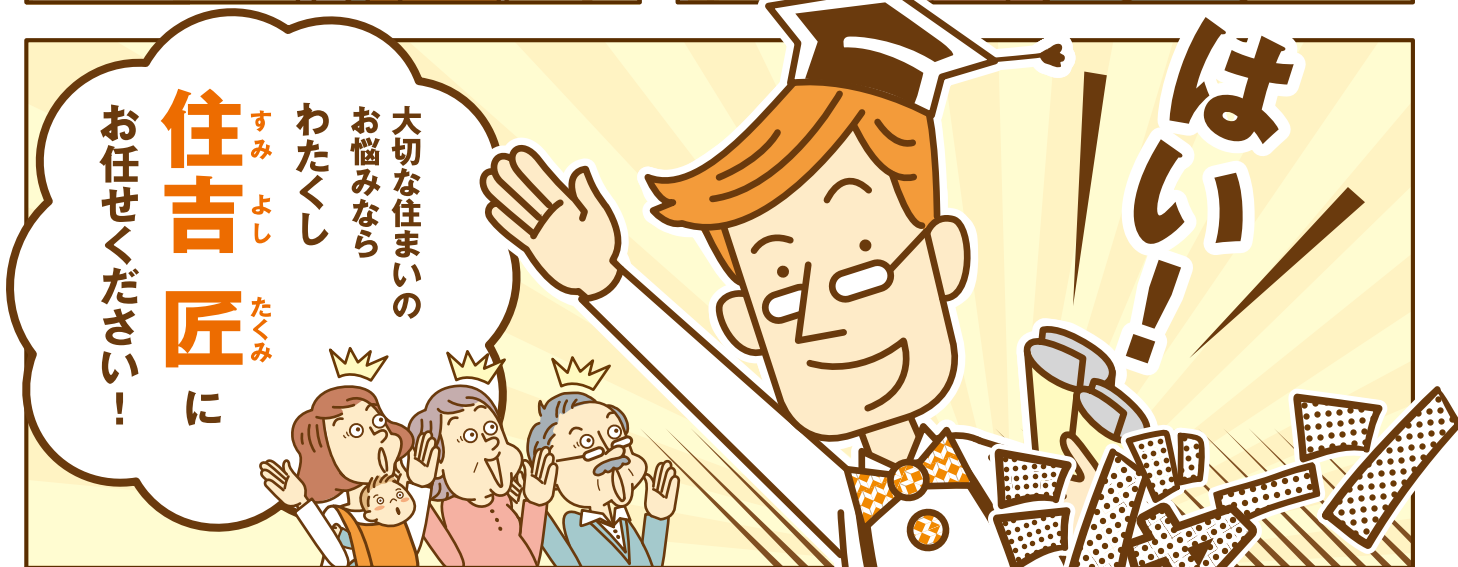
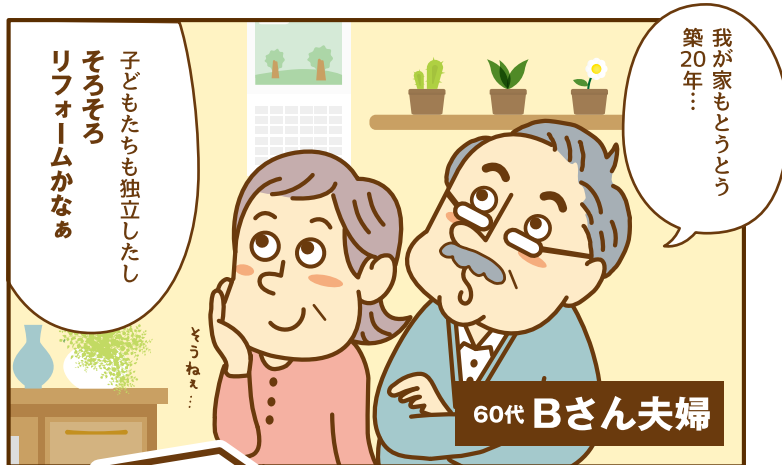
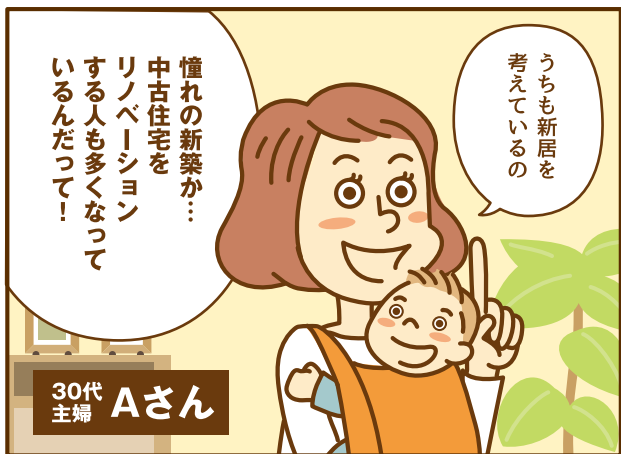
住む本

Life Style Comic



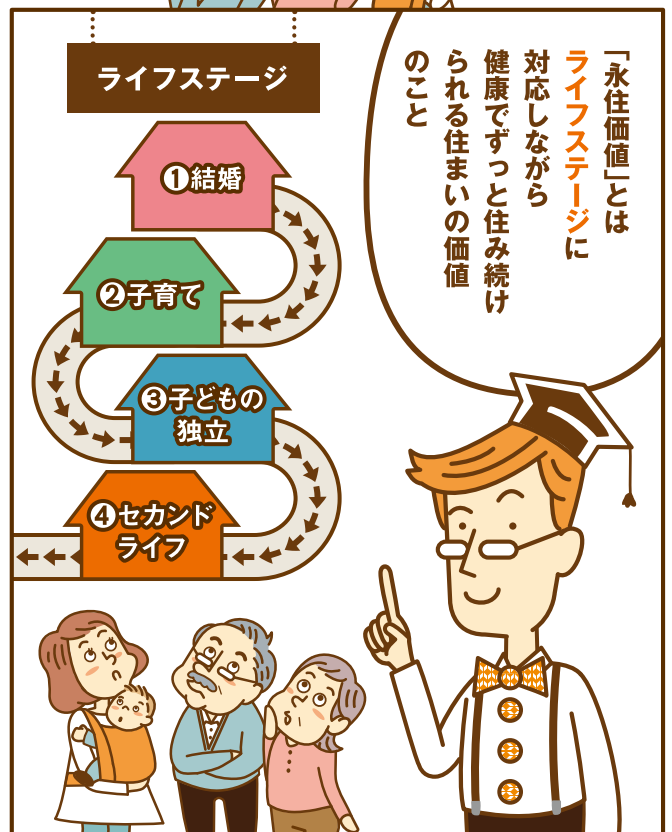
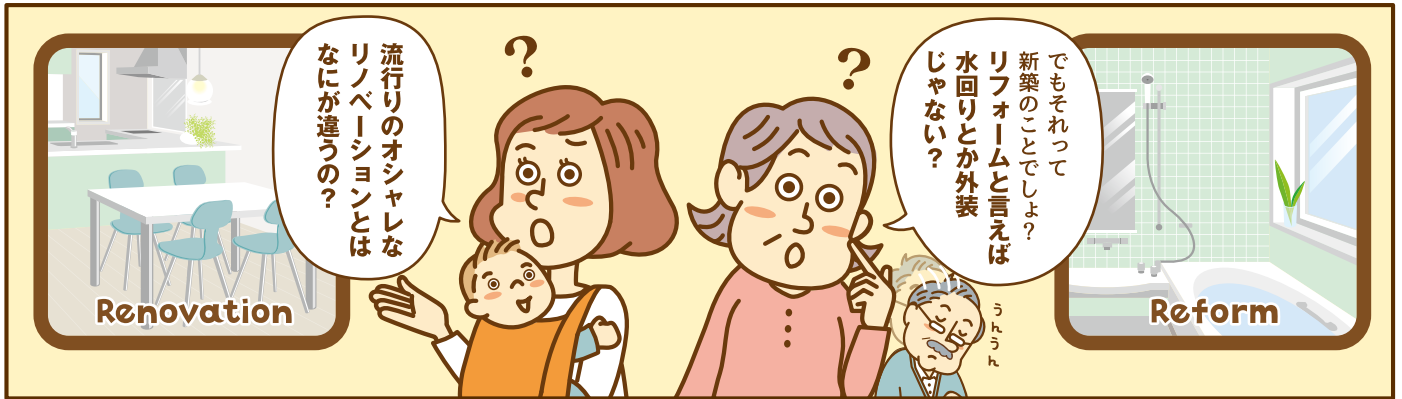
佐賀県
住まいづくりキャラクター
住吉匠 (すみよしたくみ)

住まいの新基準は「永住価値」にあり



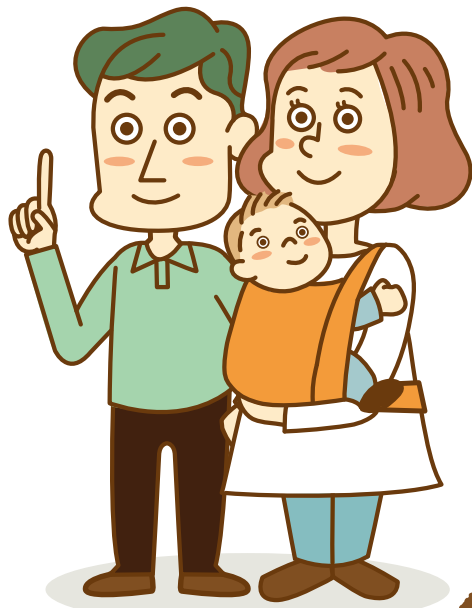


ライフステージに合わせて
住み続けられる住まい。
それが「永住価値」という新発想です



自分に合った ライフステージで見直す

30代 Aさん夫婦 の場合



今は子供も小さいけど
これからは
思い出と一緒に
モノも増えるよね

今は狭い方が
目が届きやすいけど
いずれはゆとりが
欲しくなるわね

年代別 ライフステージ例

40代

仕事と子育て

家族と暮らしに
必要な空間づくり

運動靴や洋服等の収納
スペースを増やしたり、
勉強机を置く部屋をつく
ったりと、子供の成長に合
わせて、限られた空間を上手
に使うことがポイントに。

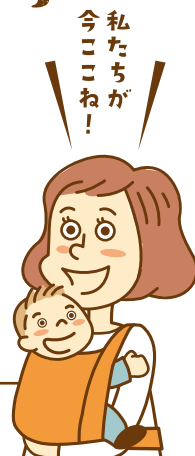


30代

結婚と子育て

賃貸からの
住み替え検討

結婚～出産～育児などを機に
住宅購入を検討し始める時期。
新築はもちろん、中古住宅や
既存住宅をリフォームする
方法も、各家庭の家計・事情
と合わせながら検討。



問

気になることや
今後の住まいで



それぞれのライフステージや
家族構成の変化に合わせて対応
していく「住まい方」がポイントです

60代 Bさん夫婦 の場合

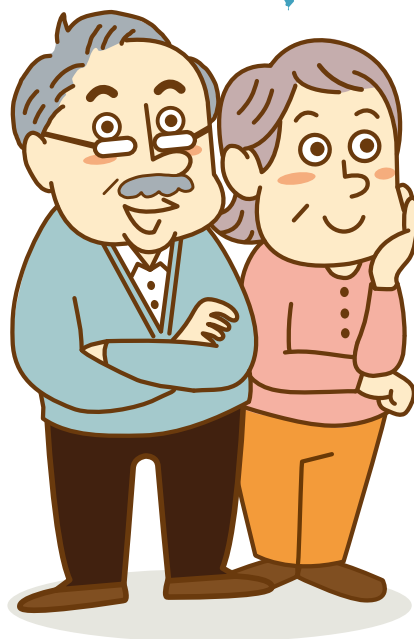


修繕・補修は
もちろん必要だけど

健康で快適に
暮らす事も大事
だよな!

家にいる時間も増えたし

もっと
快適に過ごせる
方が嬉しいね!



質

求めることを
教えてください!

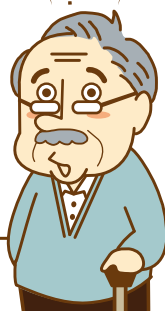
70代

セカンドライフ

健康寿命を考えた、
バリアフリー対応

健康的で自立した生活を送る
ためにも、玄関・階段・トイレ・
風呂場などにバリアフリー
対応を。さらに家の中の温度差
を小さくすることで快適で健康
を意識した住まいに。

失くして
考えないと...



50代・60代

子どもの独立と老後の準備

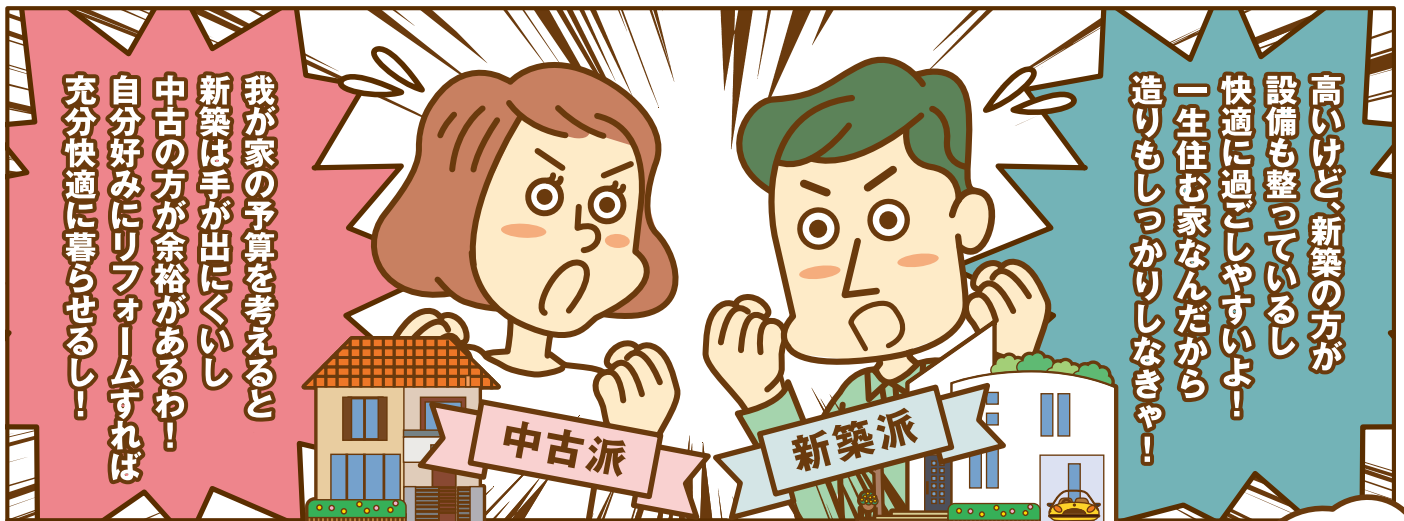
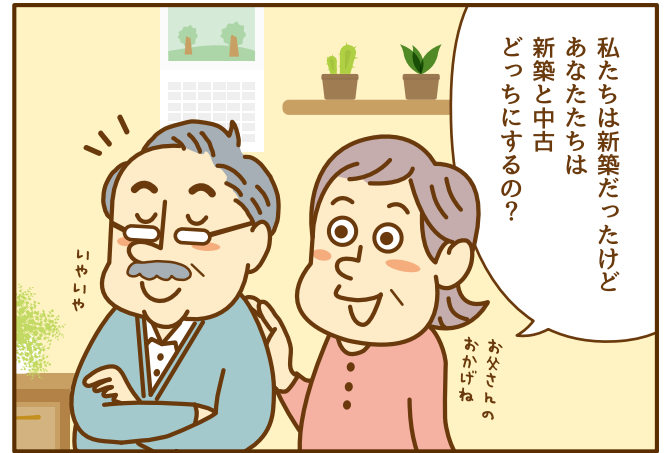
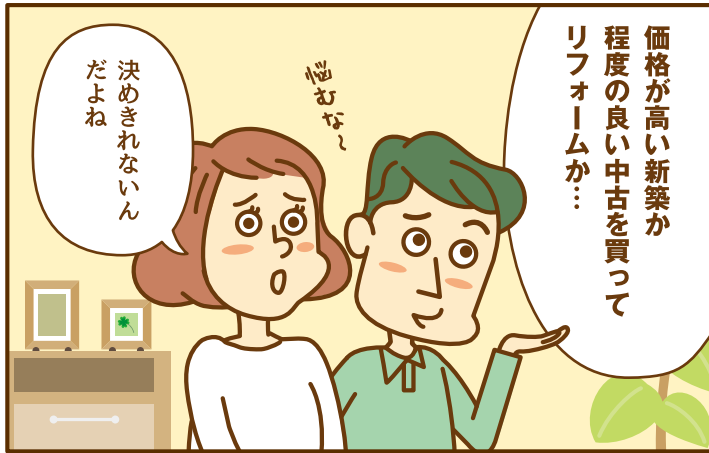
複数世帯同居・
住宅性能の見直し

定年退職と豊かなセカンド
ライフを見据えて時間もお金
も余裕があるうちに、バリア
フリーをはじめ、断熱・省エネ・
耐震などの住宅性能の見直し
を!

私たちが
今ここね!



徹底比較!「新築vs中古」





「新築vs中古」は、選ぶ人の “価値観”次第。メリットとデメリットを 比較することで自分たちに合った 家選びを考えてみましょう

新築 の場合

さっそく
“モデルハウスの”
見学に行こう！



P7へGO!



匠's POINT!

住宅そのものの価値が高い



新築住宅は最新の建築技術や建材、住宅設備によりしっかりとつくられているため、断熱性や耐震性にも優れており住宅そのものの価値が高いのがポイント。
モデルハウスでは実際の断熱や耐震性能を模型で確認できたり住宅設備の使い勝手を体感できますので、ぜひ見学に行きましょう。

メリット

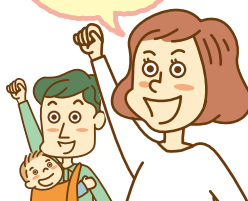
- 1 自分の希望に合ったプランで建てることできる
- 2 最新の基準で建設されるため断熱性や耐震性が優れている
- 3 最新の設備が設置されていることが多く、省エネ性に優れている
- 4 新築住宅は住宅瑕疵担保責任保険により10年間保証されている
- 5 登録免許税など新築は税制上の優遇が受けやすい

デメリット

- 1 中古住宅よりも高額となる
- 2 住み心地は実際に建ててみないと分からないことが多い
- 3 外構工事等(駐車場整備や庭園工事、植栽工事など)が必要となるため、費用が膨らむ恐れもある
- 4 利便性の良い土地にはすでに建物が建っているため、郊外の土地になることもある
- 5 照明器具やエアコンなど設備を別途購入することが多く、費用が膨らむ恐れもある

中古 の場合

さっそく
“実際の建物”も
見学に行こう！



P9へGO!



匠's POINT!

実際の建物を見て比較できる



中古住宅は築年数にこだわらなければ、物件の数も多く価格もお手頃。
また、希望のエリアや間取り・広さを同じ価格帯で比較できる事がメリットです。
実際の建物を見ながら生活スタイルに合わせて間取りを変えたり、最新の住宅設備の導入で住み心地を改善する事も可能です。実際に建物を見に行きイメージを確認しましょう！

メリット

- 1 新築住宅よりも安く手に入れることができる
- 2 すでに建っているため、実際に利便性や間取りを確認することができる
- 3 リフォームの内容次第では、費用を抑えて新築住宅同等の性能を手に入れることができる
- 4 築年数次第では、割安で新築同等の性能をもった中古物件を購入することができる
- 5 外構工事等まで終わっているため、すぐに生活することができる

デメリット

- 1 目に見えない部分の劣化の状況が分からないことがあり不安
- 2 築年数によっては、最新基準(断熱性や耐震性など)を満たさないこともある
- 3 築年数によっては設備の劣化や経年劣化がみられ、修繕費が高くなる
- 4 バリアフリー化(段差解消や手すりの設置など)されていない住宅もある
- 5 瑕疵担保保険が任意加入もしくは加入しても保険期間が短い

新築 の場合

これからの時代の新基準！ 新築住宅なら「長期優良住宅」

見た目が新しい
だけじゃない！
新築住宅の主流になりつつある
長期優良住宅を！

ご存じですか？

某新築住宅展示場

見た目もキレイだし
設備も充実してるよ！

やっぱり
新築はいいなあ

長期優良住宅ってどんな家？

一戸建て住宅のイメージ

省エネルギー性【断熱等性能等級4】

必要な断熱性能等の省エネルギー性能が確保されている。

劣化対策【劣化対策等級3】+α

数世代にわたり住宅の構造躯体が使用できる。

耐震性【耐震等級（倒壊防止）2以上】または【免震建築物】

極めて稀に発生する地震に対し、継続利用のための改修の容易化を図るため、損傷のレベルの低減が図られている。

維持管理・更新の容易性【維持管理対策等級3】

構造躯体に比べて耐用年数が短い内装・設備について、維持管理（清掃・点検・補修・更新）を容易に行うために必要な措置が講じられている。

住戸面積

75㎡以上（かつ、ワンフロア40㎡以上）

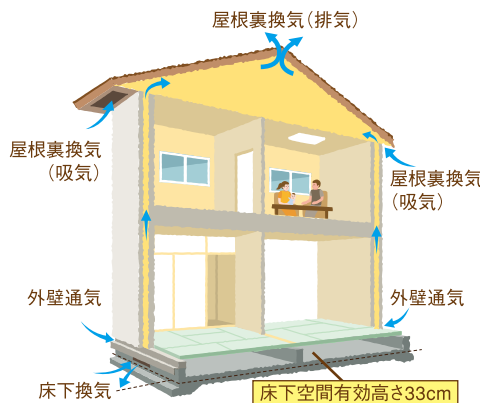
居住環境

地域における居住環境の維持及び向上に配慮されている。

維持保全計画

建築時から将来を見据えて、定期的な点検・補修に関する計画が策定されている。

※概要のみ記載しています。【】書きは住宅性能表示基準と関係するものです。



毎年
約10万戸
増加！

新築戸建ての
4戸に1戸が
長期優良住宅

断熱等性能等級4

劣化対策等級3

維持管理対策等級3

については、
**住宅性能表示基準^(*)の
最高等級です！**

★住居の品質確保の促進等に関する法律
(平成11年法律第81号)の規定による
日本住宅性能表示基準

様々な優遇措置も
受けられますよ！

購入時の登録免許税が減税

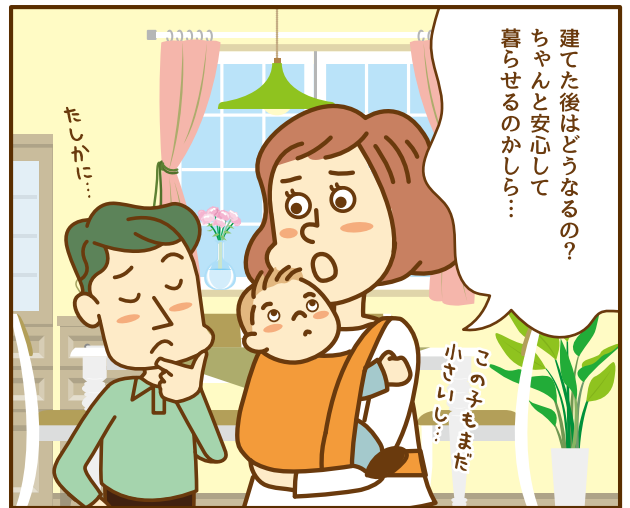
不動産取得税が減税

ローン控除の控除額が上乘せ

さらに！
建物の耐久性や
維持管理のしやすさが
一定基準を満たして
「長期優良住宅」として
認定されると



憧れのマイホーム 「新築派」のポイントは “賢く選んで、安心して暮らす”



(じゅうたくかしたんぼせきにん)

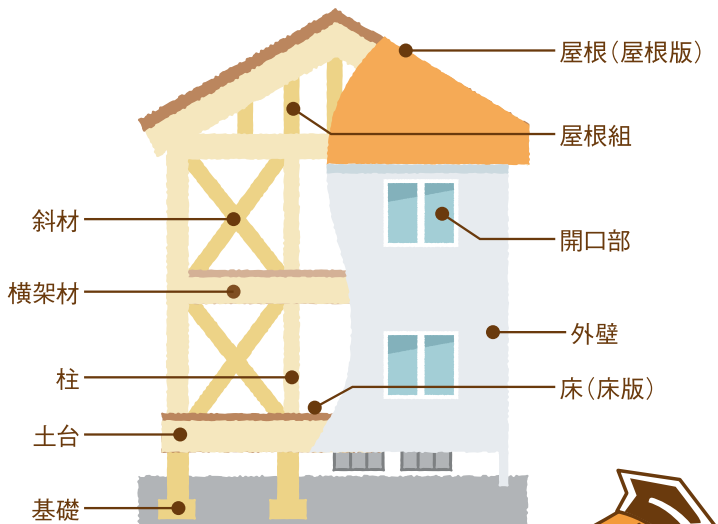
新築から10年間、安心保障が受けられる「住宅瑕疵担保責任」

新築住宅は10年間の保証が定められているので瑕疵(欠陥)が見つかった場合には住宅事業者が無償で直さなければなりません。

定期的な点検で住まいの状態を把握して、適切な修繕を心がけることも重要になります。

床材の傷や反り、建具・金具の不良、雨漏りなど、住人の目に見える部分は1年毎に、基本設備や構造部分などの住宅事業者などの専門業者による点検は5年毎に行いましょう。

木造(在来軸組工法)戸建の例



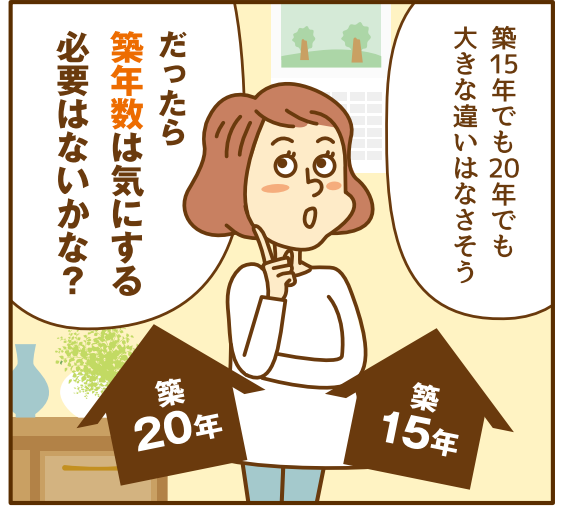
義務づけされている、10年間の「住宅瑕疵担保責任」とは？

住宅の基礎や柱、外壁や屋根などの主要な基本構造部分の不具合に対して10年間に渡り補修などを行います。



中古
の場合

「築年数」は 中古住宅の履歴書



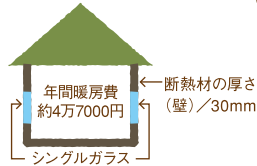
年表

1980年
<昭和55年>

断熱

オイルショック後、
初めて断熱性を規定する
「省エネ基準」が定められる

1980年
以降の基準

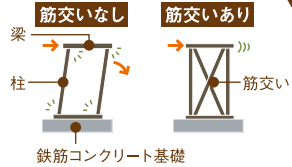


1981年
<昭和56年>

耐震

耐力壁を増やした
「新耐震基準」の
家づくりで
地震に強い構造に
なった

1981年
以降の基準



揺れに強い筋交いの入った
耐力壁を、建物全体に
バランス良く配置するよう
規定された

左/柱と梁だけでは横揺れに抵抗できない
右/筋交いが横揺れに抵抗して形を保つ

へえ!!
知らなかった!

1992年
<平成4年>

断熱

省エネ基準がさらに強化。
断熱材を厚くするよう
基準が強化された

1992年
以降の基準



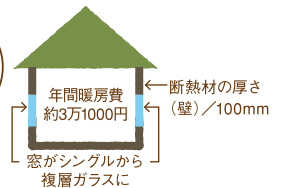
時代に合わせて
家づくりは
安全&快適に進化
してきたのです!

1999年
<平成11年>

断熱

省エネ基準の改正で
窓や玄関ドアも
断熱仕様に。
断熱・気密性が高まった

1999年
以降の基準

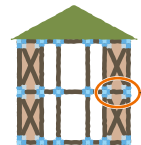


2000年
<平成12年>

耐震

建築基準法が改正
されて大地震で
倒壊しないよう
確かな基準ができた

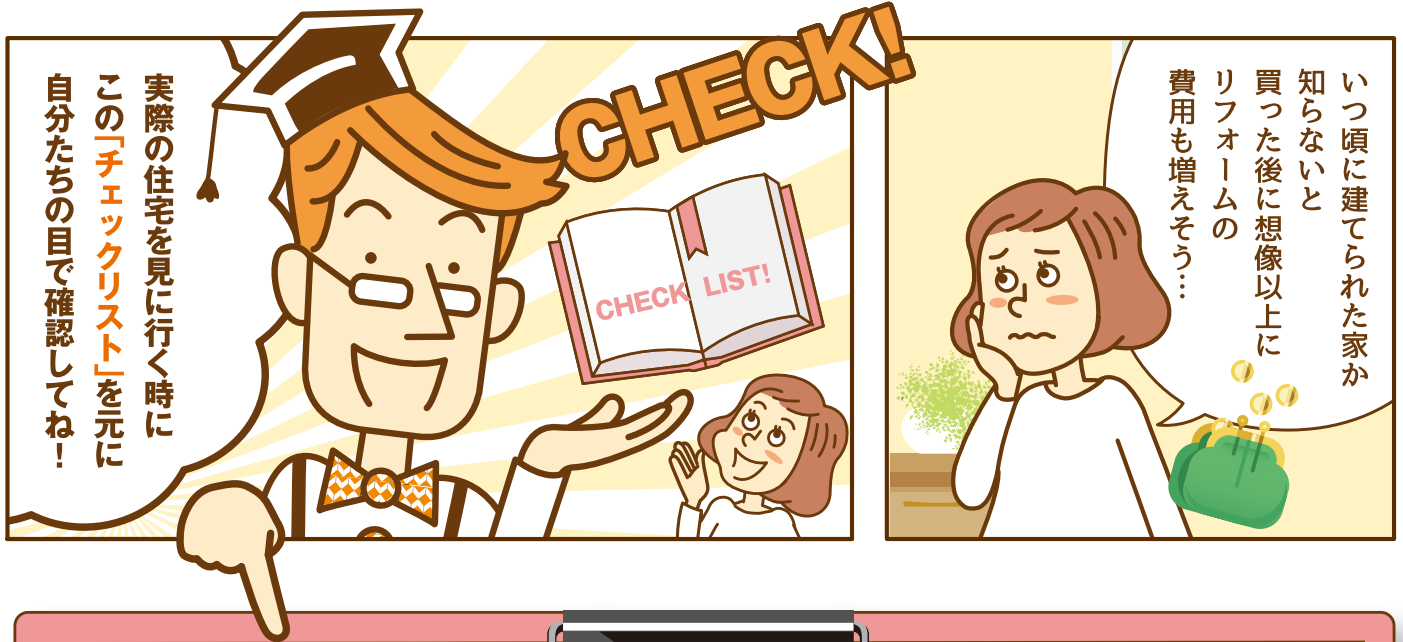
2000年
以降の基準



部材を専用金物で接合し、地震時に緩んで
抜けることを防ぎ、耐力壁の力を最大限発揮



「中古派」の第一歩は リフォームも視野に入れた “築年数から現状を知る”こと



CHECK LIST!



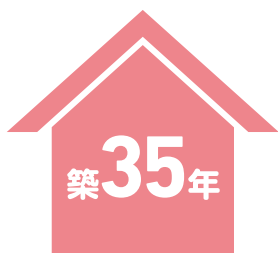
**1回目の修繕タイミング。
間取り変更も検討を!**

- キッチンや浴室のお湯の出が悪くないか?
- 壁など室内の汚れが目立っていないか?
- 家族構成と部屋数が合っているか?
- 収納が足りているか?
- 日当たりの悪い部屋がないか?
- 床がギシギシ鳴り、たわんでいる場所がないか?
- 行政による確認(建築確認済証の有無)がなされた建物か?



**劣化に対応するメンテが
今後の建物寿命を左右**

- 外壁・目地にひび割れがないか?
- 軒下やバルコニーに黒いシミが見えないか?
- 基礎にひび割れがないか?
- 図面などで壁内部や床下の断熱材の有無が確認できるか?
- 水回り設備の汚れが目立ち、故障していないか?
- 地震に強い建物(耐震等級の取得)である事が確認できるか?
- 行政による確認(建築確認済証の有無)がなされた建物か?



**構造の劣化を総点検!
大規模リフォームも視野に**

- 外壁・目地にコケや破損、ひび割れがないか?
- 開きにくいドアやサッシはないか?
- 水道から赤水が出ていないか?
- 大きな地震を経験した建物ではないか?
- 新耐震基準以降(1981年(昭和56年6月))に建てられたか?
- 行政による確認(建築確認済証の有無)がなされた建物か?

中古
の場合

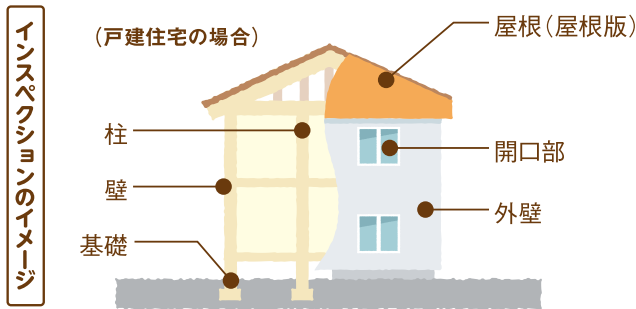
中古住宅を購入する前に「建物状況調査」をしましょう！



Step
01

状況調査技術者による「建物状況調査」

外見だけではわからない、家の内部や細部までくまなく調べる建物状況調査（インスペクション）を行う専門家「状況調査技術者」（ホームインスペクター）に調査を依頼！



状況調査技術者を選ぶときは…

- 建築士の資格を有しているか？
- 経験豊富で実績があるか？
- 第三者的な立場か？

などを確認

リフォームの流れ

建物状況調査(インスペクション)とは

目視や計測などで、住宅の基礎や外壁のひび割れ、天井の雨漏りなどの劣化・不具合が発生していないかを調べる「調査」です。調査をふまえて、補修の必要性など、安全・安心で適切なリフォームプランをつくることができます。

インスペクション 検索

Step
02

リフォーム内容の検討と業者選び

建物状況調査の結果をもとに、リフォーム業者に相談し、予算や要望に合わせてリフォーム内容の検討をしましょう。リフォーム内容が決まったら、業者を選びましょう。3社程度に見積りを依頼すると安心！

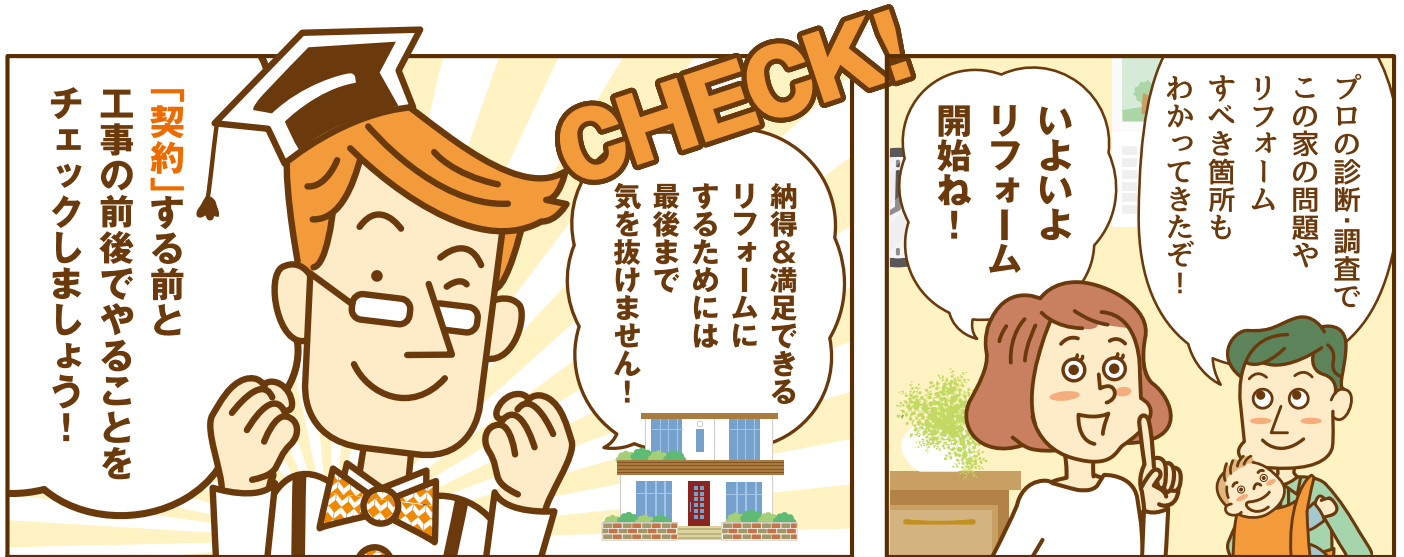
リフォーム内容検討のときは…

- 耐震補強の必要性
- 雨漏りやシロアリの被害状況
- 屋根・基礎・外壁の状況
- 間取り変更の可否
- 水周りの移動や導線の変更
- 現在の断熱性能

などを確認



リフォームの費用とプランを左右する「建物状況調査」で家中をくまなくチェック!



工事前から工事後まで 安心&納得するチェックポイント



①工事前のチェックポイント

- 居住したまま工事する場合、水周りが使用できない期間の確認
- 近隣住民への挨拶
- 減税・補助制度を活用する場合に必要な手続き

②工事中のチェックポイント

- 契約内容通りのリフォームになっているか
- 工事内容を途中で変更した場合、必ず書面で残す
- 追加工事が必要な場合、その内容と金額を工事の追加前に確認

③工事後のチェックポイント

- 竣工検査に同行してもらい、気になるところがあればチェックを!
- 工事の記録の保管(契約書・図面・保証書など)
- 工事後の点検・メンテナンスや長期的な維持保全計画の相談

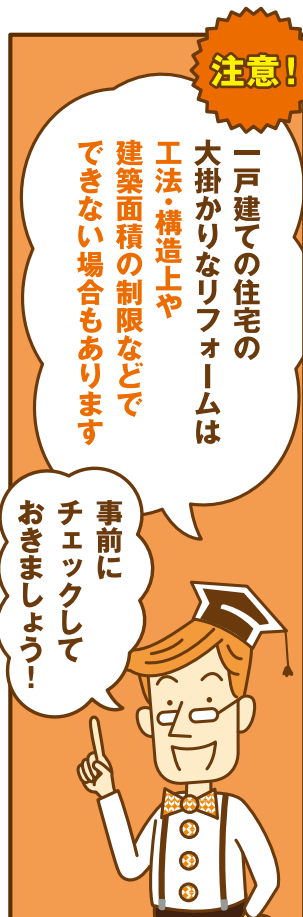
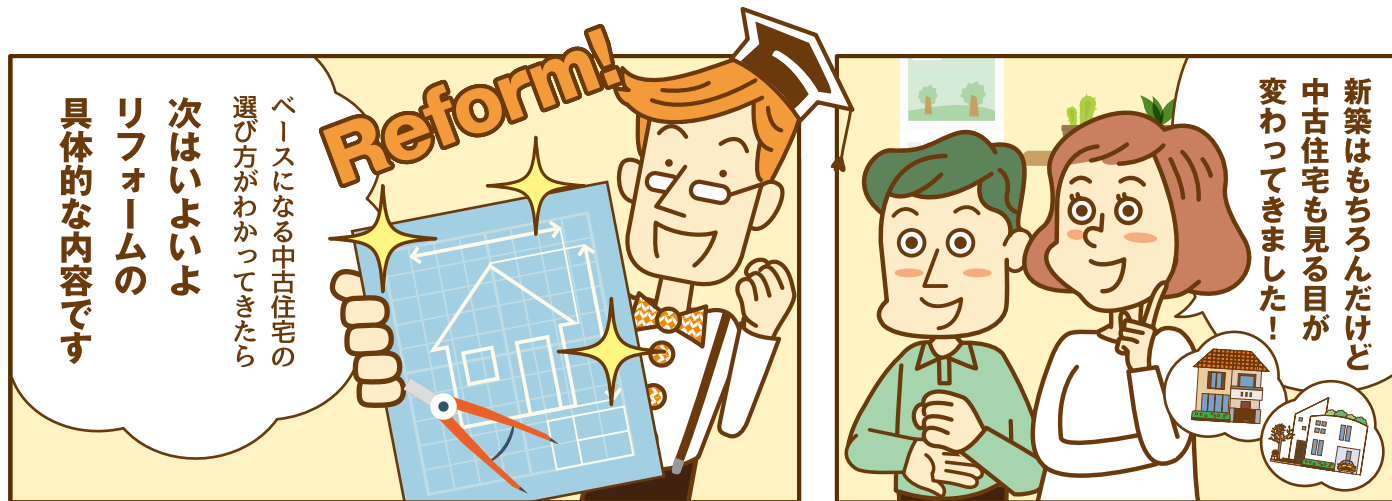


どんなに小さなリフォーム工事でも 契約書がトラブル防止につながる!

見積書や口約束でも契約は成立しますが、後になってトラブルの原因になることが少なくありません。どんな小さいリフォーム工事でも書面で契約を結び、契約約款等も必ず確認しましょう。



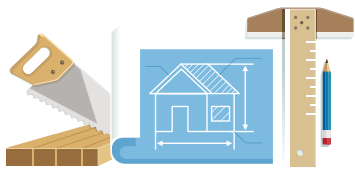
リフォームの基本 「設備改修と間取り変更」





快適な暮らしを手に入れる 中古物件リフォームの基本は 「設備の改修と間取り変更」

設備改修 リフォーム の場合



匠's POINT!

リフォームで
新しい暮らし方を実現!

「壁紙の色を変えたい」といった、気分転換にもなる内装リフォームや経年劣化で不具合が出始めた水周りなどの定期的な補修で、建物を長持ちさせる外回りリフォームがあります。



外回りリフォーム

キレイで
最新
リフォーム



水周りリフォーム



内装リフォーム

P17へGO!

間取り変更 リフォーム の場合



匠's POINT!

リフォームで
暮らしのお悩みを解決!

「子供部屋用に間取りを変えたい」
「夫婦2人の広々リビング」
ライフステージの変化に合わせて必要な間取りへと変更することで快適な居住空間が生まれます。



広々リビングリフォーム

便利で
快適
リフォーム



子ども部屋



収納たっぷりリフォーム

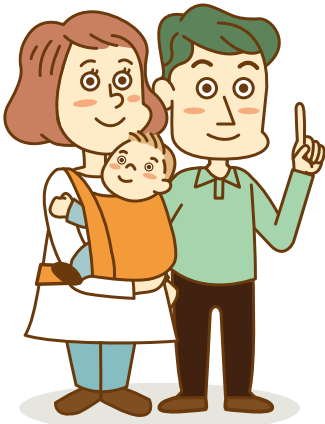
P15へGO!

間取り変更
リフォーム
の場合

暮らしのお悩み解決 「間取り変更」

30代

Aさん夫婦の場合



お悩み

安心してのびのび子育てを
楽しめる生活空間にしたい!

匠's
POINT!



子どもの成長に合わせて暮らし方を
変えるのがポイント。

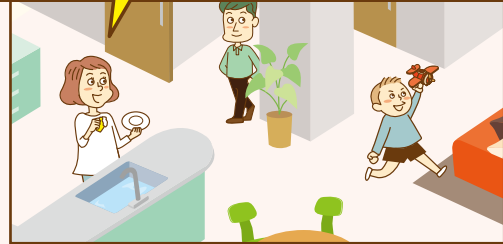
小さいうちは、目が届きやすい隣接タイプ、
間取りの工夫で広さを確保できます。

解決例 01

家事をしながら子どもの世話を出来る ユーティリティスペース(多目的空間)を確保

中古住宅には和室や廊下が多く小さな子どもが
リビングで遊んでいても目が届かないため、
家事をしながらキッチン・洗面台・脱衣所とリビングを
自由に行き来しやすいように和室や廊下をなくし、
ユーティリティスペースを確保。

家事をしながら、子どもたちの様子が確認できます



解決例 02

L(リビング)とDK(ダイニングキッチン)・隣接する和室を 一体型の開放感のあるLDKに間取り変更

LとDK(隣接する和室)を一体型の開放感のある
LDKに間取り変更。畳スペースなどの小上がりも
作って子育て空間に。さらに、引き戸で仕切るよう
にすれば子どもの成長に合わせて個室としても利用
できる。

引き戸で仕切る





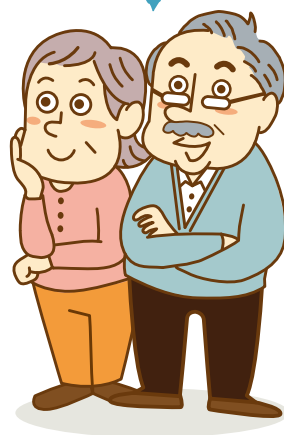
ライフステージの変化と共に生まれる お悩みを解決 「間取り変更」Before→After

お悩み

子どもが独立し、余っている
スペースを有効活用したい

60代

Bさん夫婦の場合



匠's
POINT!



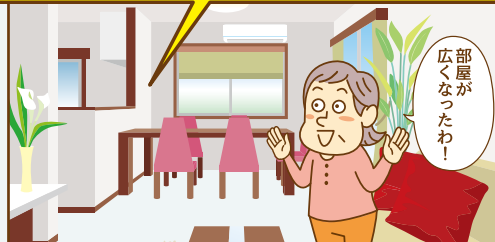
間取り変更で、より広いスペースをつくれれば
収納を充実させたり、
快適なリビングへと変更可能！
プライベートスペースを設け、
ゆとりある暮らしにまた一步近づきますね！

解決例
01

余った部屋を取り込み一体化した広いLDKに

子どもが独立して余った部屋はLDKに取り込んだり
大型の収納として有効活用もできる。
バルコニーに面した和室をリビングに取り込み
キッチンも対面式に変えることで、これまで以上に
明るくてオープンなリビングダイニングへ。

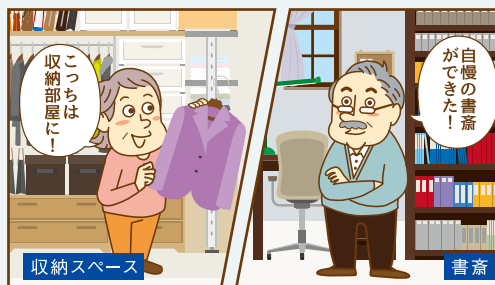
キッチンを対面式にしてリビングダイニングに



解決例
02

お互いの時間を好きに使う「プライベートスペース」

不要になった子ども部屋を造作工事で
ウォークインクローゼットや書斎に改造して
お互いのプライベートな空間に大変身！



設備改修
リフォーム
の場合

ひと目でわかる 「リフォームの目安」



こだわりたい設備や
諦める部分を選びながら
納得のリフォームへ！

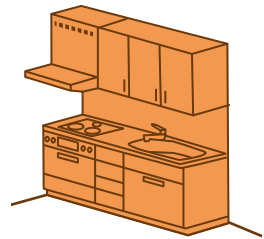
リフォーム費用はプランや工事内容、
設備機器・建材のグレードなどによって
大きく変動します。
予算を考慮した取捨選択が必要！

リフォーム費用例

キッチン

【キッチン交換】約75万円～

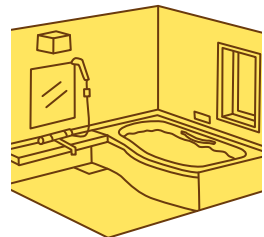
- 位置を変えずにシステムキッチンのみを交換する場合は、キッチン本体の費用がベースとなるので比較的安く済むことが多い。



バス

【バス交換】約120万円～

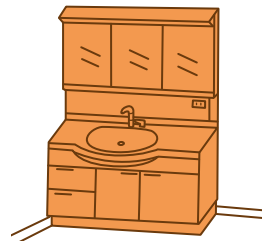
- 古い浴室を解体し、新しいシステムバスを設置。保温効果の高い浴槽は省エネに。
- サイズやグレード、浴室乾燥機などの追加で費用は変動する。



洗面室

【洗面化粧台交換】約20万円～

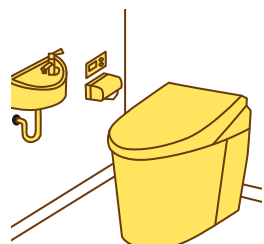
- リフォーム費用は機器代が多くを占める。
- 間口が広いものや収納、鏡や水洗金具などはオプションで選ぶことが可能。



トイレ

【タンクレス交換】約40万円～

- タンクレストイレは、タンクがある便器と比較すると高くなるが水の量を減らせる他、省スペースとなる。
- 手洗い器が必要になる点は要注意。





知っておきたい!内装から外装まで リフォームの種類・費用と 交換時期の目安

我が家はまだ大丈夫?!

気になる交換時期の目安

| 交換時期の目安 | 10年 | 15年 | 20年 | 25年 |
|---------|-----|-----|-----|-----|
| 壁紙 | ■ | | ■ | |
| フローリング | | | | ■ |
| キッチン | | | ■ | |
| 浴室 | | | ■ | |
| トイレ | | | ■ | |
| 給湯器 | | ■ | | ■ |

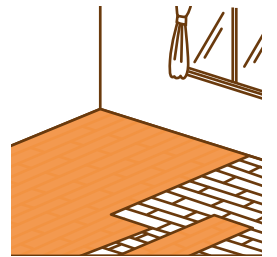
取捨選択!



床

[合板重ね貼り] 約10万円~

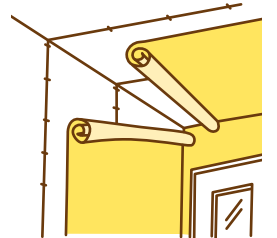
- きしみなどがなく、下地の劣化が進んでいない時は、古いフローリングの上に新たなフローリングを重ねることでリフォームが可能。



壁・天井

[クロス貼り替え] 約8万円~

- 古いビニールクロスをはがして新しいクロスへと張り替える。
- 防災や調湿など素材・仕様によって費用は変動する。



外壁

[塗り替え] 約75万円~

- ホコリや汚れを洗浄し、鉄部のサビ止めなどを行い再塗装する。
- 破損がある場合は補修費用が別途発生。



屋根

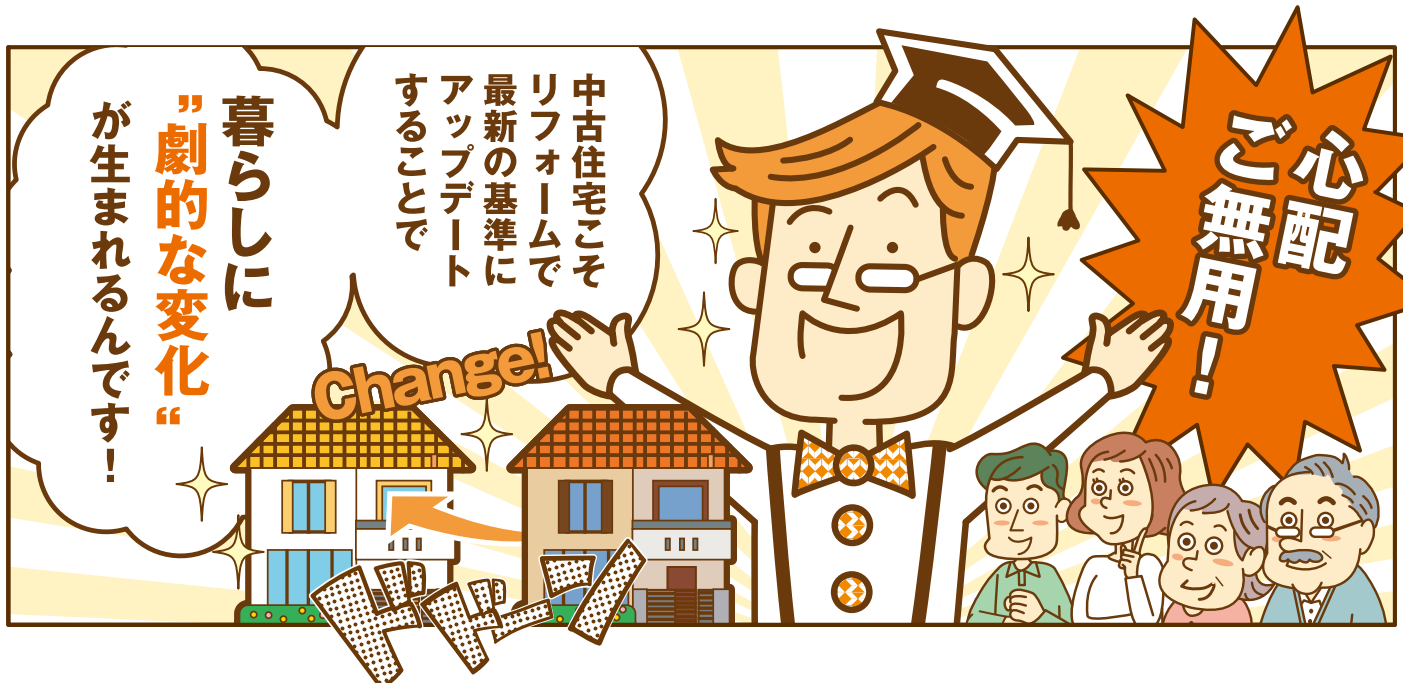
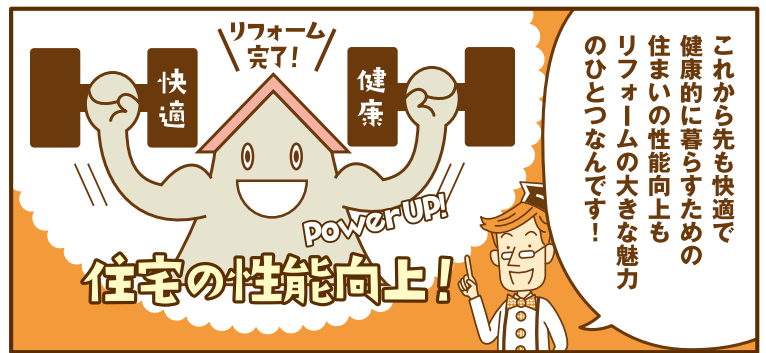
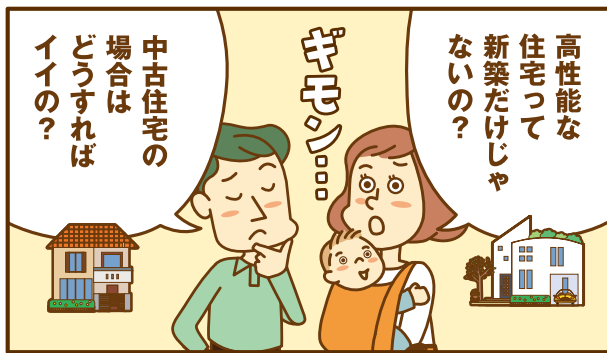
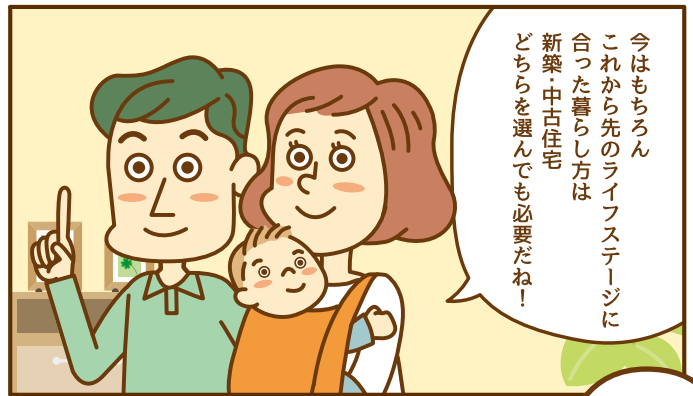
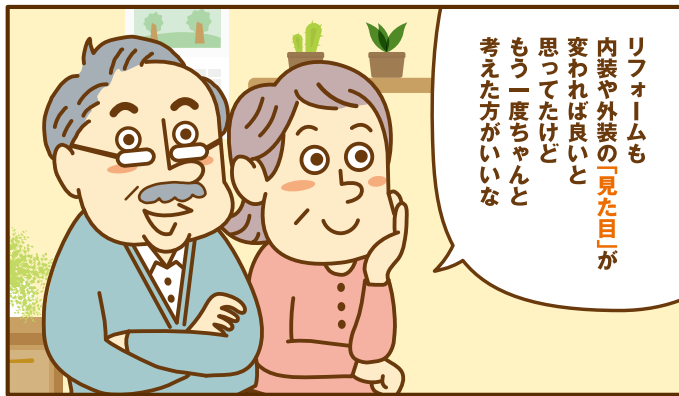
[塗り替え] 約60万円~

- ホコリや汚れを洗浄し、鉄部のサビ止めなどを行い再塗装する。
- 破損がある場合は補修費用が別途発生。



※設備の仕様・グレードや工事内容に応じて変動するため、実際の費用とは異なります。

永住価値を高める 「性能向上リフォーム」





見た目はもちろん中身にこだわる! それが永住価値を高める 「性能向上リフォーム」

性能向上リフォームは
家族の強い味方です!

老後の介護や健康
家事の手間も省けて
家計にもやさしい

解消!

中古住宅のお悩み
不便 & 不満

今は慣れているだけで
実は不便 & 不満だった
中古住宅のお悩みも
リフォームで
解消できるんです

毎月の
光熱費も…

いろいろ
出費が…

省エネ

住まいの性能向上で 暮らしのお悩みを **円満解決!**

急勾配な
階段の段差も…

膝が痛い…

バリアフリー

地震が多いけど
大丈夫かしら

揺れてる

耐震



冬になると出る
結露も…

結露が
すごいです…

断熱



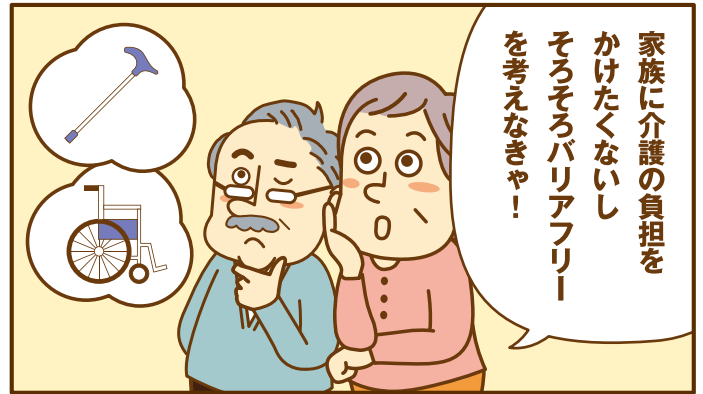
ここからは最新の
性能向上リフォームを
4つのキーワードで
お話ししましょう♪

- ① バリアフリー [P21]
- ② 断熱 [P23]
- ③ 省エネ [P25]
- ④ 耐震 [P27]

Go to NEXT

季節を問わず一年中
これから先もずっと快適に
過ごすために
住まいの性能を高める
= 暮らしの質が変わります!

暮らしの質 UP!
住まいの性能 UP!

暮らしに安心と安全を!
「バリアフリー」

CHECK LIST!

我が家は大丈夫?

Q1 床や部屋の出入口が凸凹でつまづくことはありませんか? チェック!

年齢に関係なく、家族全員が安心して暮らすためにも、段差解消は必要です。

Q2 階段の上り下りや、玄関先やトイレでかがむ時に、きつかったりしませんか? チェック!

段差や体勢を変える場所などは、転倒予防のための手すりがあると安心です。

Q3 廊下の幅を狭く感じることはありませんか? チェック!

車いすが通れる幅があると将来の生活変化にも対応できます。

Q4 浴室や廊下の床ですべったりしませんか? チェック!

転倒事故を予防するすべりにくい床材に取り換えることをオススメします。

Q5 部屋や脱衣所、トイレなどの扉の開閉はスムーズですか? チェック!

スライド式の引き戸ならお年寄りや車いすの人などにもドアの開閉が楽になります。

バリアフリー
診断

段差のない室内や介助スペースを確保するために今すぐチェック!

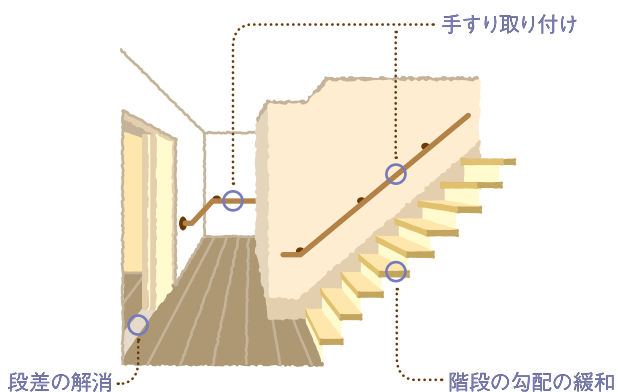


シニアだけじゃない! これから先も家族みんなが 元気に暮らすための「バリアフリー」

家族みんなが“元気に”暮らすための「バリアフリー」の具体例

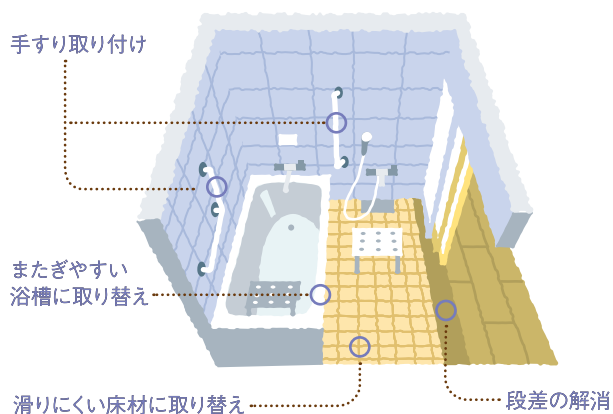
Case 01 家の中の段差を解消したり 階段の勾配をゆるやかに

家の中にある大小さまざまな「段差」を解消。通路や階段に“手すり”をつけたり階段の勾配もゆるやかにして歩行しやすい環境づくりを!



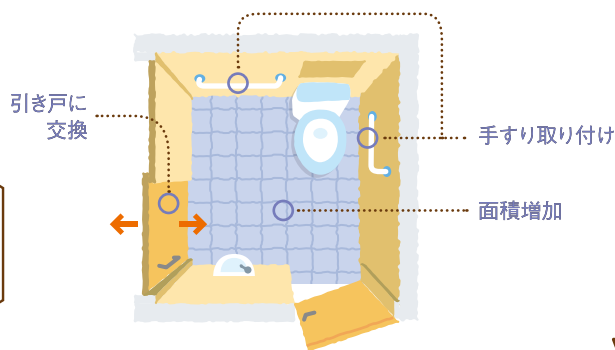
Case 02 手すりを設け、引き戸を採用 床は滑りにくい素材に

浴槽に入入りしやすいよう手すりを設置。開閉しやすい引き戸へ変更。バリアフリー対応のシステムバスもあるので要検討。



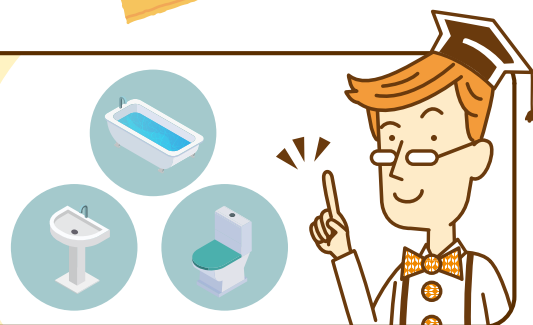
Case 03 手すりなどで動作を楽に 出入口は引き戸に

便器は洋式にし、立つ・座る動作が楽な高さに。出入口を引き戸にすると、介護する人も一緒に中に入りやすくなる。



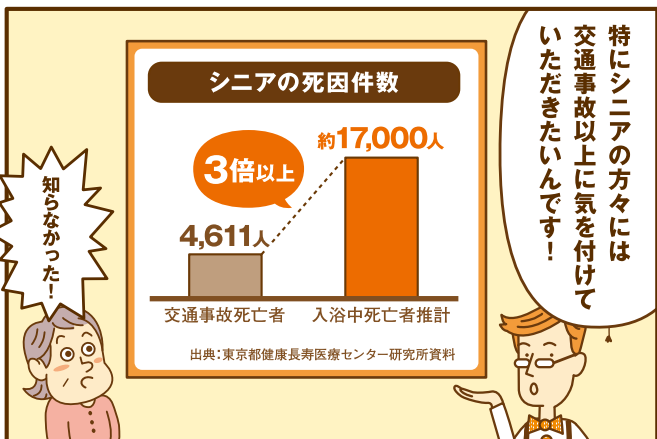
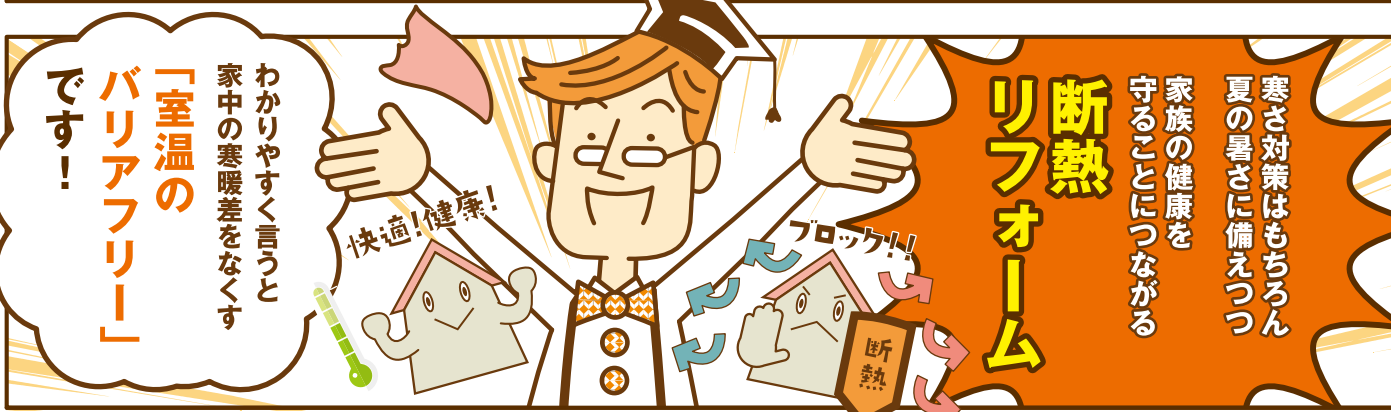
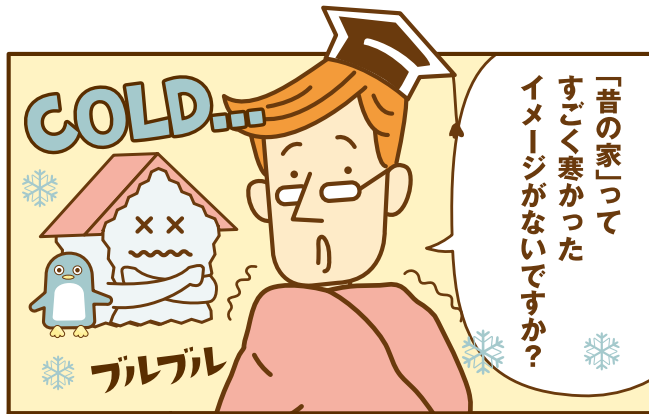
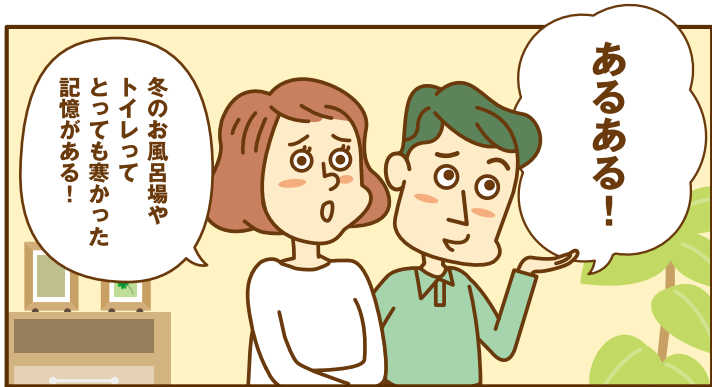
Point! バリアフリーのポイントは 「水周りとの組み合わせ」

浴室・洗面・トイレの交換とあわせてバリアフリー化を検討してみてください。



Go to NEXT 「断熱リフォーム」について考えてみましょう!

暮らしの質が高まる! 「断熱リフォーム」

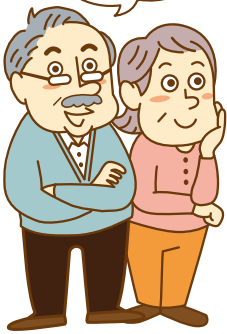




家中の温度差をなくす “室温のバリアフリー”で夏も冬も 快適に暮らせるのが 「断熱リフォーム」です！

家族みんなが“健康的に”暮らすための「断熱リフォーム」の具体例

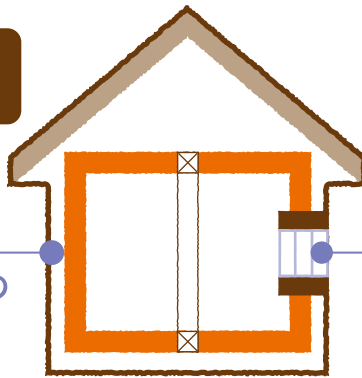
空調の効きも
良くなるね！



家中の寒暖差を解消！

家の
断熱イメージ

床、外壁、天井
あるいは屋根の
断熱改修



開口部の
断熱改修

外気を防ぎ
熱気を逃がさない
それが「断熱リフォーム」



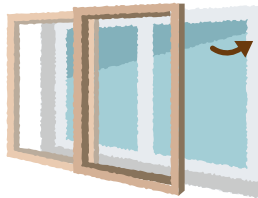
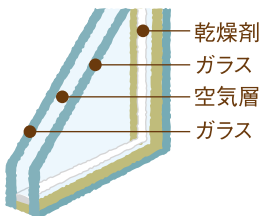
Case 01 開口部「窓」の断熱改修

室内外の熱の出入りの6割を占める「窓」の断熱改修は効果大！サッシやガラスの交換、内窓を設置します。

改修例

ペアガラス

二重窓



Case 02 「床・壁・天井」の断熱改修

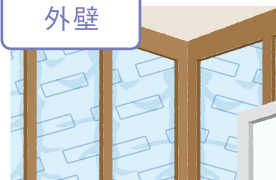
床下・壁・天井裏に断熱材を施工して外気を遮断。家中の断熱性能を高めます。

床下



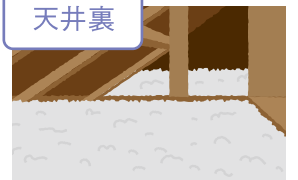
床点検口などから床下に入り断熱材を施工する

外壁



室内の仕上げ材を撤去し断熱材を施工する

天井裏



天井点検口から天井裏に入り断熱材を吹き込む



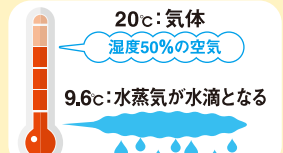
断熱リフォームは家族の健康を守るだけではありません

「省エネルギーフォーム」についても考えてみましょう！

Go to NEXT

さらに！

断熱性能を高めるとカビやダニの発生につながる「結露」も解消できるんです。

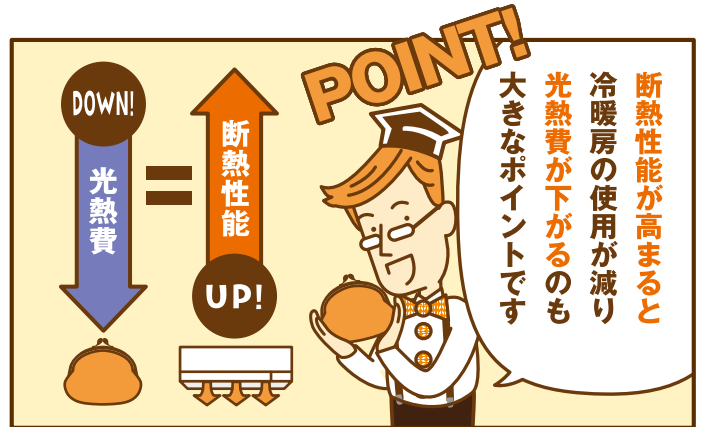


エコロジー&エコノミーな 「省エネルギーリフォーム」

さっそく診断
してみましょー！



特に築年数が経った
中古住宅ほど
断熱性能が暮らしに
影響しているはず…



CHECK LIST!

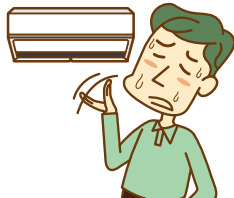
我が家はエコ？

Q1

夏場、冷房が効かずに
暑いと感じませんか？

チェック!

断熱材を入れることで
屋外の空気の熱が
家の中に伝わりにくい
状態にできます。

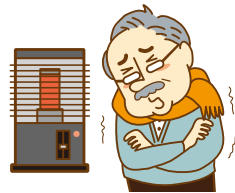


Q2

冬場、暖房が効かずに
寒いと感じませんか？

チェック!

断熱材を入れることで
暖房で温めた空気が
家の外に逃げにくい
状態にできます。



Q3

冬場、窓に水滴がつく
結露で困っていませんか？

チェック!

断熱材や断熱窓を使い
結露対策を行うことで
カビやダニの発生を
抑える効果も！



Q4

冬場に脱衣所や浴室、トイレが
特に寒いと感じませんか？

チェック!

断熱性能を高める
ことで家中の温度差が
なくなり冬でも快適に
過ごせます。

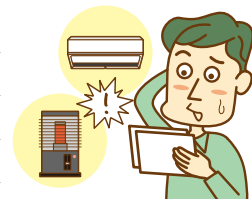


Q5

光熱費が高いと思ったことは
ありませんか？

チェック!

高効率給湯器などで
エネルギーの消費量を
抑え、ガス・電気の割引
料金を利用できます。



省エネ診断

様々な暮らしのお悩みを解消できる
チャンス!今すぐチェック!





みんなにやさしく、地球にやさしく
家計にもやさしい。
それが「省エネルギーフォーム」です!



家族みんなが“エコに”暮らすための「省エネルギーフォーム」の具体例

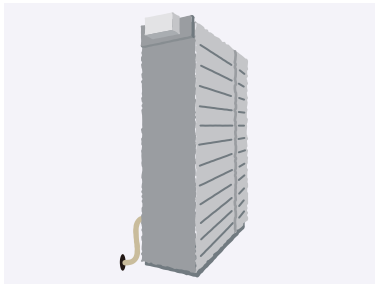
Case 01 トイレ・浴室で 節水&省エネ

お湯の保温性を高めた高断熱浴槽や節水トイレ、節水シャワーの活用は経済的な負担の軽減にも!



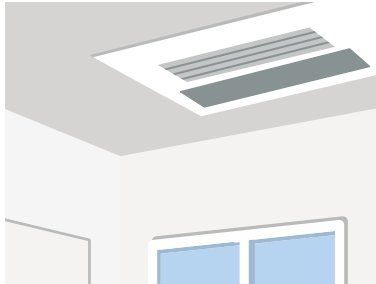
Case 02 高効率給湯器で 省エネ&創エネ

ガス・電気の使用量を抑え、エネルギーを効率よく使ってお湯をつくる給湯機器など



Case 03 設備でも防げる「ヒートショック」

住宅の断熱性の向上が難しい場合は、「浴室換気乾燥暖房機」の設置も有効です



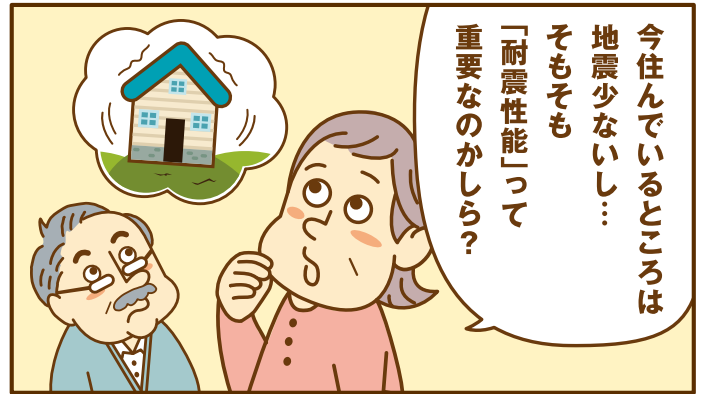
照明器具や生活家電もエコ仕様に!

Point! 断熱&省エネルギーフォームのポイントは「できるうちにコツコツと」
イニシャルコストがかかる分、光熱費などのランニングコストを抑えることができるので、できる部分や必要な箇所から着手してみてください!



Go to NEXT 「耐震リフォーム」について考えてみましょう!

中古住宅こそ見直したい 「耐震リフォーム」



【注意したい住宅例①】災害被害



床上浸水、床下浸水などの災害で、外見だけではわからないダメージを蓄積している可能性もありますよ!

築年数だけじゃなく災害被害や増改築した家もしっかりと耐震診断するべきです!

【注意したい住宅例②】増改築



また、過去に増改築して一部の壁や柱を撤去したことがある家も要注意!



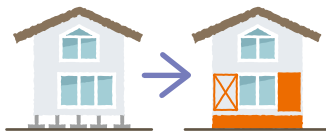


安全・安心な暮らしに 備えあれば憂いなし 「耐震リフォーム」

これからも“安心して”暮らしていくための「耐震リフォーム」の方法をご紹介します

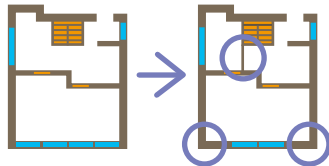
01 強い壁(耐力壁)を増やす

筋交い、構造用合板などで壁を補強したり
新たに壁を増設することで耐震性を高めます



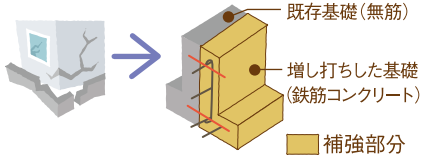
02 壁をバランスよく配置する

窓や出入口が多い側に壁を増設したり
窓を小さくして壁を増やすことも重要



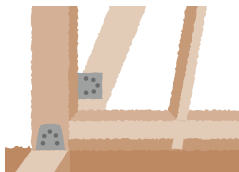
04 基礎を丈夫にする

無筋基礎を鉄筋コンクリート基礎で補強することも震性UPになります



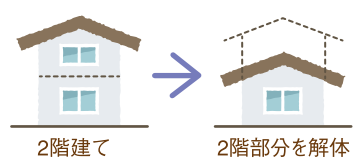
03 柱、壁、筋交い等を留め具などで結合する

接合部がはずれて住宅が倒壊しないよう
柱脚固定金物、筋交いプレート等を追加



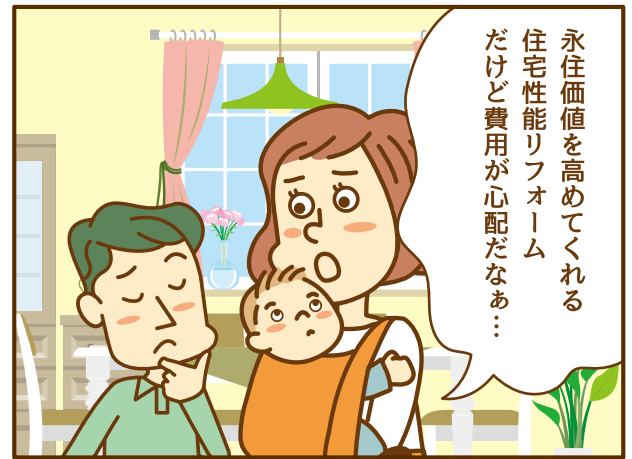
05 建物を減築する

建物の一部を解体して軽量化する
※減築の際には、壁や柱の再配置に留意



Go to NEXT

暮らしを守る 「サポート制度」のご紹介



POINT

今回紹介した
バリアフリー・省エネ・耐震リフォームは
様々な減税・補助制度の対象なんです!





身近な暮らしのサポーター・相談窓口のご紹介! オトクに活用しよう 「補助金&減税制度」

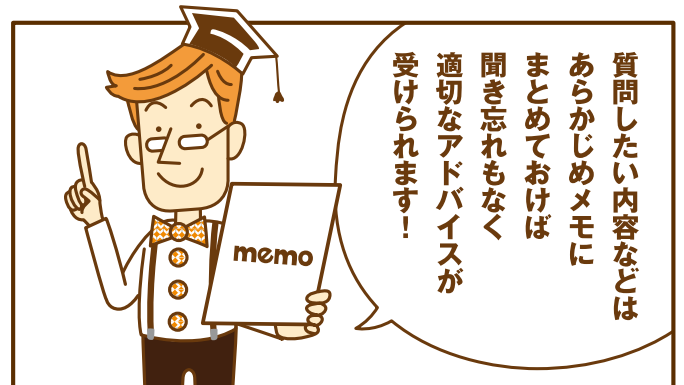


工事の内容や見積りの見方、
設計施工について、サポーター登録建築士が
現地に行って無料で相談に乗ってくれますよ!

佐賀県安全住まいづくりサポートセンター

(一社) 佐賀県建築士会
TEL.0952-26-2198

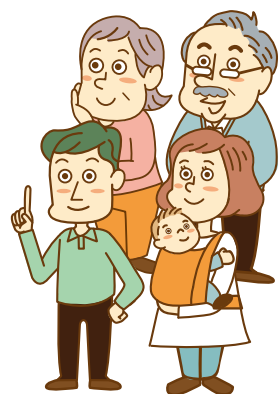
(一社) 佐賀県建築士事務所協会
TEL.0952-22-3541

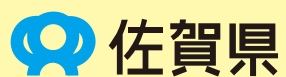


これからの家づくりの新基準

「永住価値」で

家族みんなが健康で 快適に暮らせる住まいへ!





佐賀県

県土整備部 建築住宅課 住宅計画担当

〒840-8570 佐賀市城内1丁目1番59号

TEL 0952-25-7165 FAX 0952-25-7316

メール: kenchikujuutaku@pref.saga.lg.jp